

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 行動を制限するような玄関の施錠を行なっている。	日中は利用者が外に自由に出入りできるような体制を作る。	日中時間帯はなるべく鍵をかけないようにしたい。見守りが十分に出来る時間帯から施錠しないようにしていく。(気候が良い時にはドライブなど多く実施していく)	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合は本人・家族と今後のことについて話あっているが、早い段階からの重度化した場合のあり方が必要である。	早い段階からホームで出きる事、出来ない事を十分に説明し医療との連携も充分にとり終末期のケアを行なう。	早い段階から家族・本人を交え説明を行い、終末期の同意を得るようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。